

令和7年5月23日

令和7年度第1回理事会議事録

1. 開催日時：令和7年5月23日（金）14時00分～15時20分
2. 開催方法：ハイブリッド形式
（東京海洋大学越中島キャンパス1号館2階会議室及びZoom使用）
3. 出席者：（50音順、敬称略）○：会議室出席者 ◇遠隔出席者 無印：欠席

<理事>

○飯田 敏夫	○石津 則昭	○岩本 勝美	◇遠藤 充	◇小澤 純一
○神田 一郎	○久門 明人	◇齋藤 威志	阪本 敏章	○四方 哲郎
○庄司 勉	○関根 博	田村 優	中村 紳也	◇橋本 正孝
樋口 久也	◇肥後屋 穰治	◇久永 一男	◇藤丸 明寛	逸見 真

<監事>

○掛谷 茂 ○佐田 昌弘

4. 議 事

開催にあたり事務局より定足数の確認が行われた。理事総数20名のところ、会議室出席者8名、遠隔出席者7名、合計15名の理事出席者が確認され、令和7年度第1回理事会は成立することが確認された。併せて、監事2名の出席が報告された。

引き続き、会長より、定款第39条の規定により、議長は会長が務め、議事については、法令の定めるところにより議事録を作成し、出席した代表理事及び監事が記名押印することについて説明がなされ、議事に入る前に事務局より配布資料の確認が行われた。

<第一号議案：令和6年度事業報告>

事務局より配布資料－1に基づき、令和6年度に開催した主な会議・会合の開催状況、事業関係、会務関係、会員数、叙勲受賞会員、支部の活動状況について説明がなされた。

（意見及び質問等）

- ・社員選挙が実施されているが事業報告に記載する必要はないか。会員に海洋会運営に対する意識を持たせる意味では記載した方がよい。

（事務局）

- ・会務関係の記述個所に記載することとしたい。

（意見及び質問等）

- ・会員の年齢構成、退会者の年齢等に関するデータを情報共有し問題意識を持つべきではないか。その上で本会の方向性を検討すべきと考える。

（会長）

- ・会員のデータは整理することは可能であるので今後お示ししたい。将来のことは理事会で議論したいと考えている。

(意見及び質問等)

- ・印刷された会員名簿は個人情報保護の関係で作成されなくなり、各会員が会員関係の情報を把握しにくくなった。

(事務局)

- ・会員情報は、海洋会 HP の会員サービスから検索可能となっているので、参照願いたい。

質疑応答の後、原案のとおり了承された。

<第二号議案：令和 6 年度決算報告>

事務局より配布資料－2 から配布資料－9 に基づき、貸借対照表、収支計算書、正味財産増減計算書、正味財産増減計算書内訳表、財産目録、財務諸表に対する注記、収支計算書に対する注記、附属明細書について説明がなされた。

(意見及び質問等)

- ・特定資産に百周年記念事業積立資産があるが、今後、百周年事業を行う予定はあるのか。

(事務局)

- ・これまでに発行した会誌をアーカイブするための維持費用として継続して支出される。新たに事業を行う予定はない。

(会長)

- ・過去 6 か年度の事業活動収支はマイナスが継続しているので、収支改善が課題で取り組む必要がある。コロナ禍、事務室の移転等で収支の変動が数年続いたが、ようやく令和 6 年度は定常化したと認識できる。
- ・意見に出た会員減少にともなう会費収入減少の問題も含め大きな課題がある。准員へのサービス、会員増に向けた取り組み等に取り組み、収支がプラスに改善できるよう取り組んでいきたい。本会の現状、問題点を資料として整理し、見える化を図り理事会で示していきたい。

(意見及び質問等)

- ・本会の活動は支部での活動も会員には重要である。支部活動の衰退化により会員継続のメリットがなくなり退会が増加することもある。
- ・これまでに取り組んできた財政改革について反省も含め一度総括して、修正していく必要があるのではないか。

(会長)

- ・今後検討を進める中で財政改革を見直すとともに、資産運用では資産が増加傾向になっているので活動に当てていくことも検討していきたい。
- ・支部活動は重要であるので、収支改善に取り組んでいく中で、しばらく状況をみながら支部活動費の増額は検討していきたい。

質疑応答の後、原案のとおり了承された。

<第三号議案：特別会員の推薦について>

事務局より配布資料－１０及び配布資料－１１に基づき、東京海洋大学より１名、神戸大学より３名の推薦があり、令和７年度は特別会員が８３名となることが説明された。

(意見及び質問等)

- ・特別会員には何を期待して会員になっていただいているのか。

(事務局)

- ・本会から学生に入会に関する説明をする機会の設定、本会の重要性の学生への説明、卒業生の就職先での活躍状況の情報共有、会誌への寄稿等に尽力いただいている。

(会長)

- ・東京海洋大学の卒業式及び入学式における学長の式辞において、これまでは校友会については触れられていたが、今年の３月、４月には、本会の重要性に触れられた。先生の意識が変わってきているとも受け取れる。引き続き学校への支援を継続したい。

質疑応答の後、原案のとおり了承された。

<第四号議案：函館支部の北海道支部への統合について>

事務局より、函館支部長から会長あて、会員減少により北海道支部への統合に関する申請が提出されたことが報告された。特に意見及び質問等はなく、現状を勘案し統合することです承された。

５．報告事項

(１) 公社債・投資信託運用状況について

事務局より、令和６年度を含め過去６か年度の運用状況について報告がなされた。

(会長)

- ・資産運用委員会を２回開催し、詳細にデータを確認し運用状況を確認している。

(２) 令和６年度下期会長及び専務理事の職務執行状況報告

事務局より、配布資料－１２に基づき、令和６年度下期の会長及び専務理事の職務執行状況について報告がなされた。

(３) 令和７年度第１０５回定時社員総会開催日程

事務局より、６月２０日１５時３０分から東京海洋大学越中島キャンパス越中島会館講堂において第１０５回定時社員総会を開催する旨、説明がなされた。

6. 配付資料：

- 配布資料－1 令和6年度事業報告書
- 配付資料－2 貸借対照表
- 配布資料－3 収支計算書
- 配布資料－4 正味財産増減計算書
- 配布資料－5 正味財産増減計算書内訳表
- 配布資料－6 財産目録
- 配布資料－7 財務諸表に対する注記
- 配布資料－8 収支計算書に対する注記、
- 配布資料－9 附属明細書
- 配付資料－10 令和7年度特別会員の推薦について
- 配布資料－11 令和7年度海洋会特別会員名簿
- 配付資料－12 令和6年度下期会長及び専務理事の職務執行状況報告書

以 上

上記の決議を明確にするため、この議事録を作成し、代表理事及び出席監事がこれに記名押印する。

令和7年5月23日

一般社団法人 海洋会

議長・代表理事

関根 博

印

出席監事

掛谷 茂

印

佐田 昌弘

印